

## 関西大学高等教育研究 投稿規定

関西大学教育開発支援センターは、『関西大学高等教育研究』を編集・刊行するために以下の規定を定める。

### 1. 名称

『関西大学高等教育研究』

### 2. 投稿資格

関西大学教職員および関西大学大学院生

その他、教育開発支援センターが適当と認めた者

### 3. 刊行期日

3月末日

### 4. 掲載原稿の種類

掲載内容の種類は、論文、活動報告、書評、資料紹介、その他とし未発表のものに限る。

- ・論文：高等教育あるいはそれに深く関係するものであり実証的または理論的研究の成果であること
- ・活動報告：高等教育あるいはそれに深く関係する分野における調査もしくは実践報告
- ・書評：高等教育に関係のある書籍等に関する評論
- ・資料紹介：国内外の高等教育に関する研究資料で教育開発支援センターの活動に参考になるもの
- ・その他：翻訳、見聞記など教育開発支援センターが適当と認めたもの

### 5. 執筆要領

別途定める

### 6. 著作権

関西大学教育開発支援センターに帰属する。

### 7. 配付・公開

冊子体での配布に加え教育開発支援センターホームページにおいて原則として公開する。

## 『関西大学高等教育研究』執筆要領

1. 本誌に掲載される論文等1篇の分量（日本語の表題・著者名、英語の表題・著者名・抄録、日本語および英語のキーワード、図表を含む）は、原則として以下を目安とする。ただし、編集委員会が認める場合はこの限りではない。  
論文 20000字（刷上り12ページ）まで  
活動報告 10000字（刷上り6ページ）まで  
資料、書評 6000字（刷上り4ページ）まで  
書評 6000字（刷上り4ページ）まで
2. 原稿はワープロソフトで作成し、原稿ファイルの入ったメディア1部と印刷したもの2部を提出する。なお提出された書類等は返却しない。
3. A4判、上下左右に25mmのマージン、1行45文字、1ページ40行というフォーマットで作成すること。図・グラフを挿入する場合、適宜本文の字数を減らすこと。
4. 1ページ目には表紙をつけ、論文タイトル（日本語・英語両方）、執筆者（複数の場合は全員）の氏名と所属（いずれも日本語・英語両方）、査読結果等の連絡先（郵送先・電話・ファクス・E-mailアドレス）を記載すること。
5. 2ページ目には、冒頭に「論文タイトル」（日本語・英語の両方）、続けて3～5語の日本語および英語のキーワード、論文の場合は300語程度の英語の「抄録」（Abstract）を記載してから本文を始めること。ここには執筆者の氏名を記載しないこと。報告・資料には「抄録」（Abstract）はつけなくてもよい。
6. 見出しレベルは節・項・目の3つまでにとどめ、それぞれゴシック体にする。
7. 和文は常用漢字・現代仮名遣いを用い、句読点には「、」「。」を用いる。
8. 図と表は必要最小限にとどめ、それぞれ連番を付し、簡潔な見出しをつける。
9. 条注は、本文の末尾に「注」というセクションを設け、一括して記載する。
10. 本文中での注の指示は、カギ括弧で連番を付して示す。例：[1]、[2]、…
11. 本文中で引用された文献は、注のセクションの後ろに「引用文献」というセクションを設け、アルファベット順にすべて漏れなく記載すること。
12. 本文中での引用文献の指示は、著者名・刊行年を小括弧に入れ、カンマで区切って示す。その際、外国人名は原語で表記する。例：(石川, 2002)、(Anderson, 2006)
13. 同じ著者で同一刊行年の文献を複数引用する場合は、それぞれ刊行年の後ろにアルファベットを付して区別すること。例：2006a, 2006b, …
14. 「引用文献」のセクションでは、各文献は以下のように記述すること。

## 引用文献の記述方法

### 1. 著書

日本語文献：著者名 (刊行年), 『著書名』, 出版社.

欧米文献：Surname, Initials. (Year), Title, Publisher.

関西太郎 (2007), 『高等教育と社会』, 関西大学出版部.

Kandai, T. (2007), *Modern Higher Education and Society*, Kansai UNIV Press.

### 2. 編著書の分担執筆論文

日本語文献：著者名 (刊行年), 「論文 (章) タイトル」, 編者名『著書名』所収, 出版社, ページ.

欧米文献：Surname, Initials (Year), “Title,” in Editor’s Surname, Initials (Ed.), Title, Publisher, Pages.

関大太郎・千里次郎 (2003), 「関西大学における初年次教育の課題」, 関大泰三・吹田四郎 編著『現代の大学教育問題』所収, 関西大学出版部, 63-86.

Kandai, T. and Senri, J. (2003), “Debating on the first year experiences in Kansai university,” in Kandai, T and Suita, S. (Eds.), *Issues on Modern Higher Education*, Kansai UNIV Press, 63-86.

### 3. 雑誌などに掲載された論文

日本語文献：著者名 (刊行年), 「論文名」, 『雑誌名』, 巻数, 号数, ページ.

欧米文献：Surname, Initials (Year), “Title,” Journal, Volume, Number, Pages.

千里太郎 (2007), 「高等教育のグローバル化」, 『大学教育研究』, 第2巻, 第11号, 13-20.

Senri, T. (2007), “The Globalization of Higher Education,” *Research for Higher Education*, Vol. 2, No. 11, 13-20.

○ 複数の著者がいる場合は、省略せずに全員を記載すること。なお、欧米文献で複数の著者がいる場合、2人目以降の著者名もすべて Surname, Initials の順で記載すること。

○ 英文の組織名・雑誌名等は、省略せずに正式名称で記載すること。

例： (誤) AERA → (正) American Educational Research Association